

第1回宮崎海岸市民談義所
平成21年4月25日

これまでの経緯と当面のスケジュール

国土交通省九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

1. 宮崎海岸の概要

「宮崎海岸」とは

平成20年10月1日撮影



古代から続く宮崎海岸と人との関わり

○海岸付近は、古事記にもみられる江田神社などがあり、古くから人々の生活が営まれてきた場所です。



海岸後背部に広がる防潮林



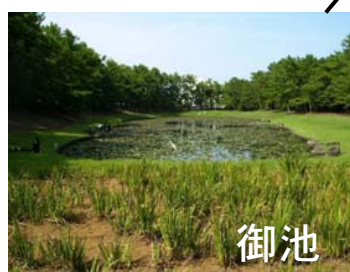
一ツ葉有料道路



観光施設



自然動物園



御池

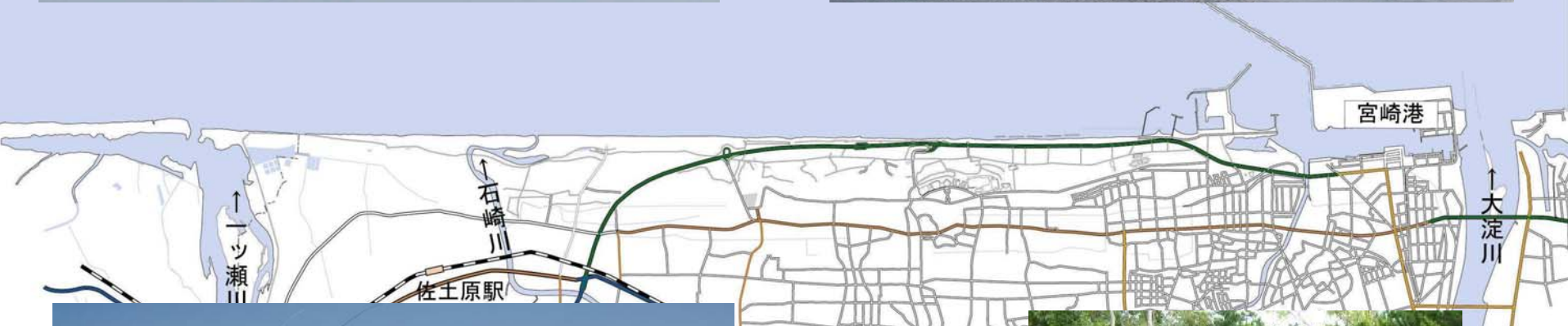


江田神社



宮崎臨海公園

多くの人々に利用されている宮崎海岸



多様な生物が生息する宮崎海岸の環境



コアジサシ



チドリ類



アカウミガメ



カワグチツボ



ハマゴウ



ネコノシタ



コウボウムギ



ゲンバイヒルガオ

【海浜性植物】



タコノアシ



ミズキンバイ



ハマボウ

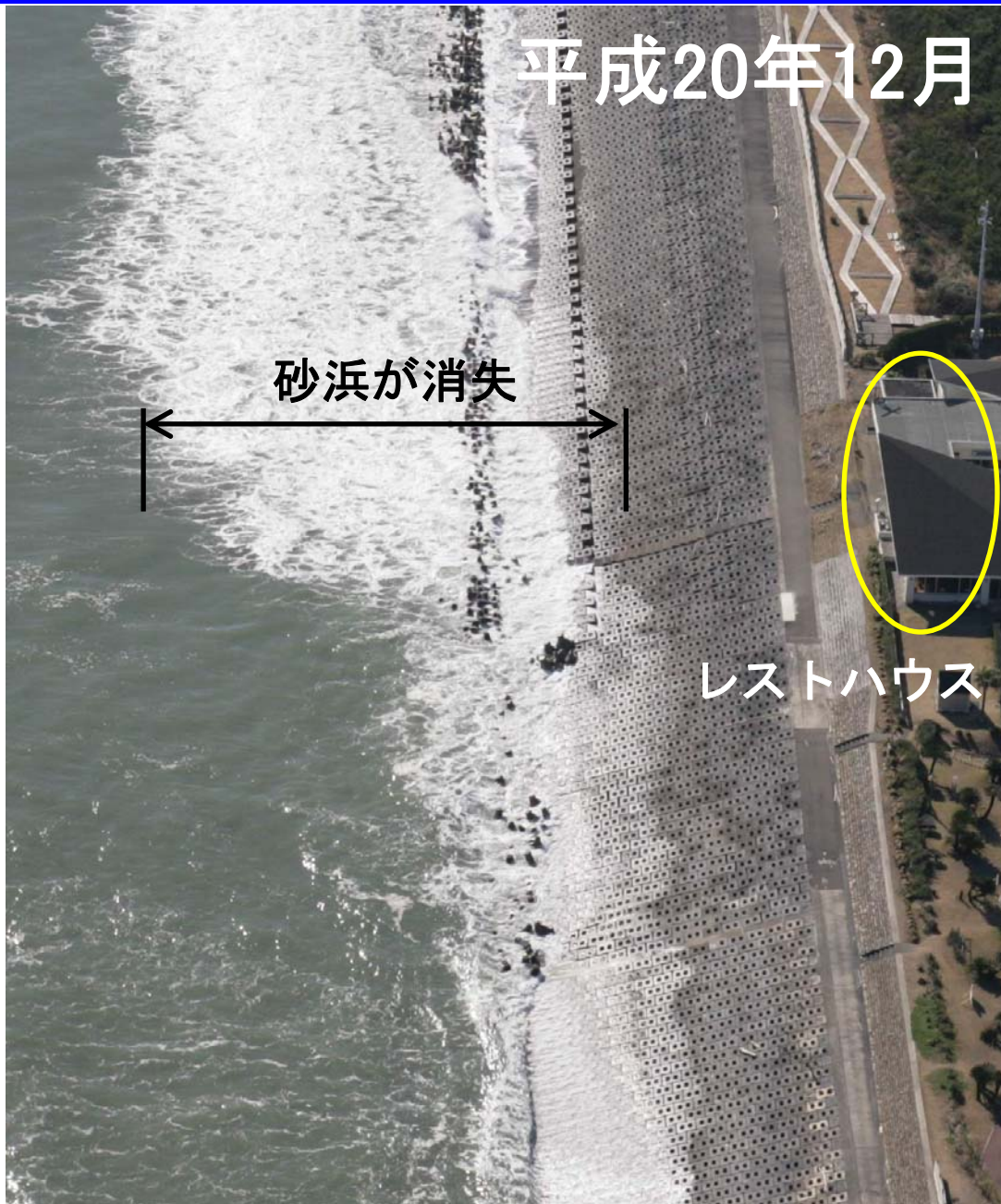
【湿地性植物】

宮崎海岸の侵食状況(レストハウス前)

昭和60年
(23年前)



平成20年12月



宮崎海岸の侵食状況（大規模な浜崖の形成）⁸

【高波浪来襲に伴う大規模な浜崖の形成：シーガイアインター南】

平成10年低気圧通過時に発生した浜崖

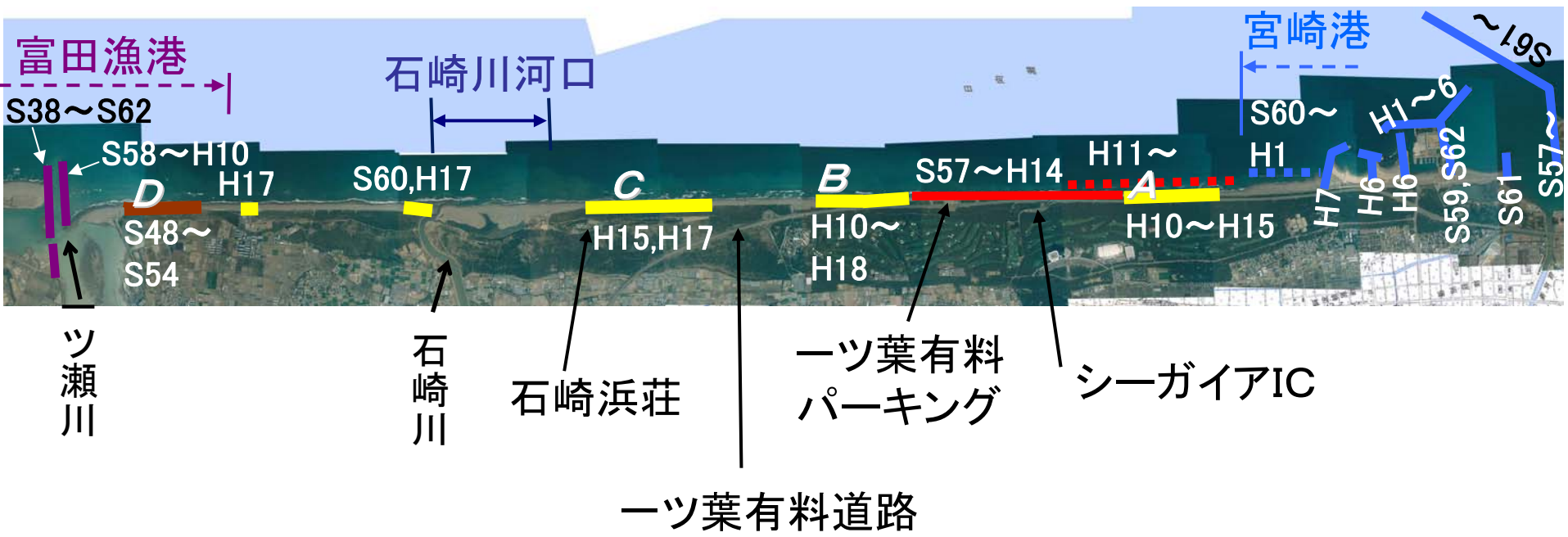
一ツ葉有料道路の際まで浜崖が迫る



平成10年2月26日

(宮崎県管理区間：宮崎県撮影)

これまでの海岸・港関連事業



< 凡 例 >	
	海岸事業
	保安林事業
	土地改良事業
	港湾事業
	漁港事業

2. 宮崎海岸侵食対策の新体制

(1) 宮崎海岸の直轄事業化について

- 平成20年度に宮崎県から国の直轄事業に移管
宮崎河川国道事務所に、海岸課(九州初)と宮崎海岸出張所を設置
- 著しい海岸侵食の進行に対して、高度な技術力をもって、集中的・重点的に事業を行う必要があるため
- 事業期間20年で国が直接、対策を実施
- 事業終了後は、宮崎県の管理に移行する予定

これまでの宮崎海岸侵食対策検討の経緯

平成18年度まで

宮崎県による

- 「住吉海岸技術検討委員会」 計6回開催
- 「住吉海岸保全施設計画策定における懇談会」
計4回開催

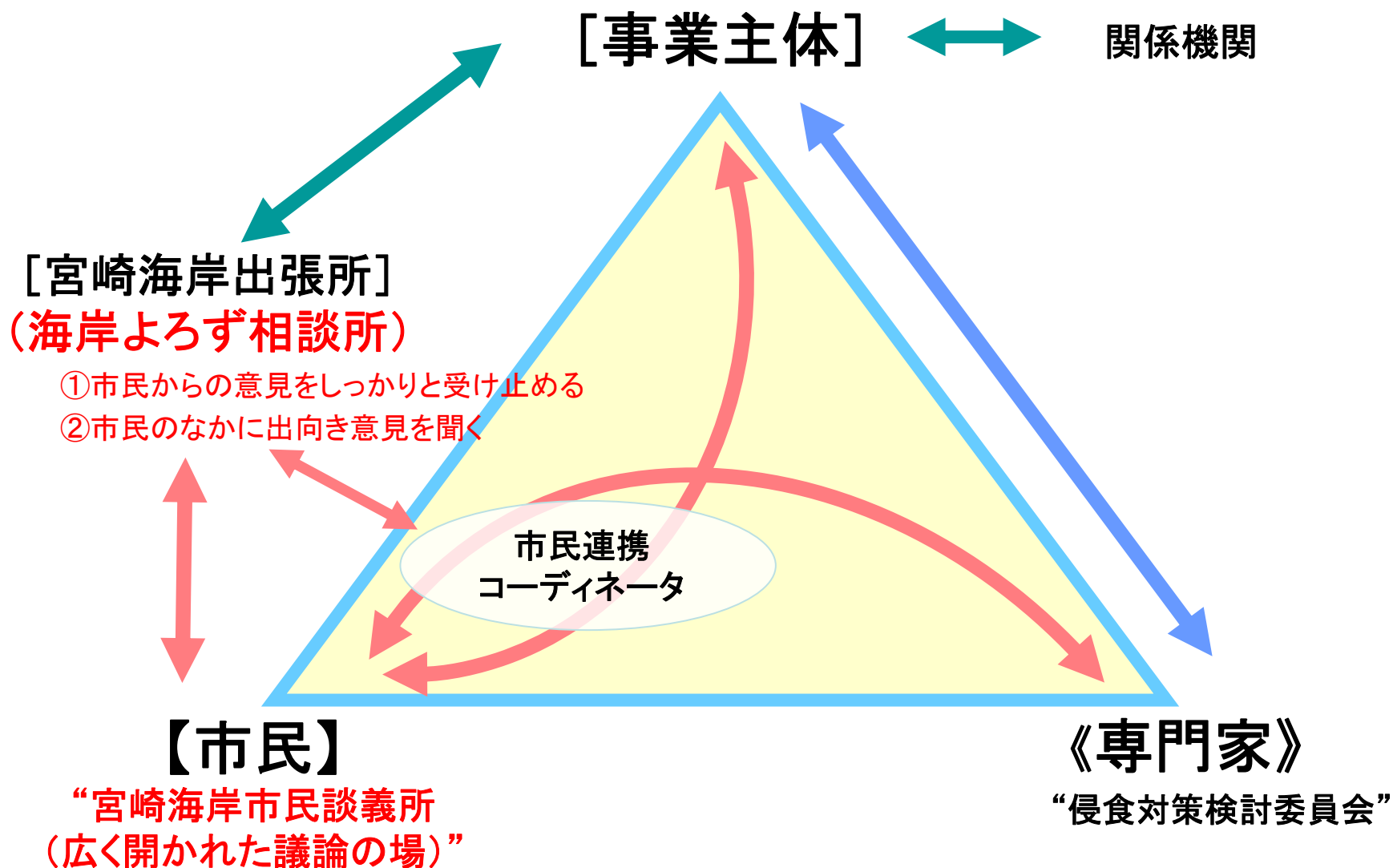
平成19年度～

宮崎県と国による

- 6月より 宮崎海岸懇談会 現在まで5回開催
- 8月より 宮崎海岸侵食対策検討委員会
現在まで5回開催
- 12月より 海岸勉強会 現在まで15回開催

(3) 宮崎海岸トライアングル

行政・市民・専門家、三者一体となって考える



それぞれの役割と責任

事業主体

市民からの多様な意見を反映した案(複数)を専門家に提示し、検討を依頼する。また、専門家からの助言をもとに、**責任ある意思決定**をする。

専門家

事業主体からの案に対して、事業主体に**技術的・専門的な立場**から助言する。

市民

お互いを理解・尊重しながら**多様な意見**を出し合い議論を深める。

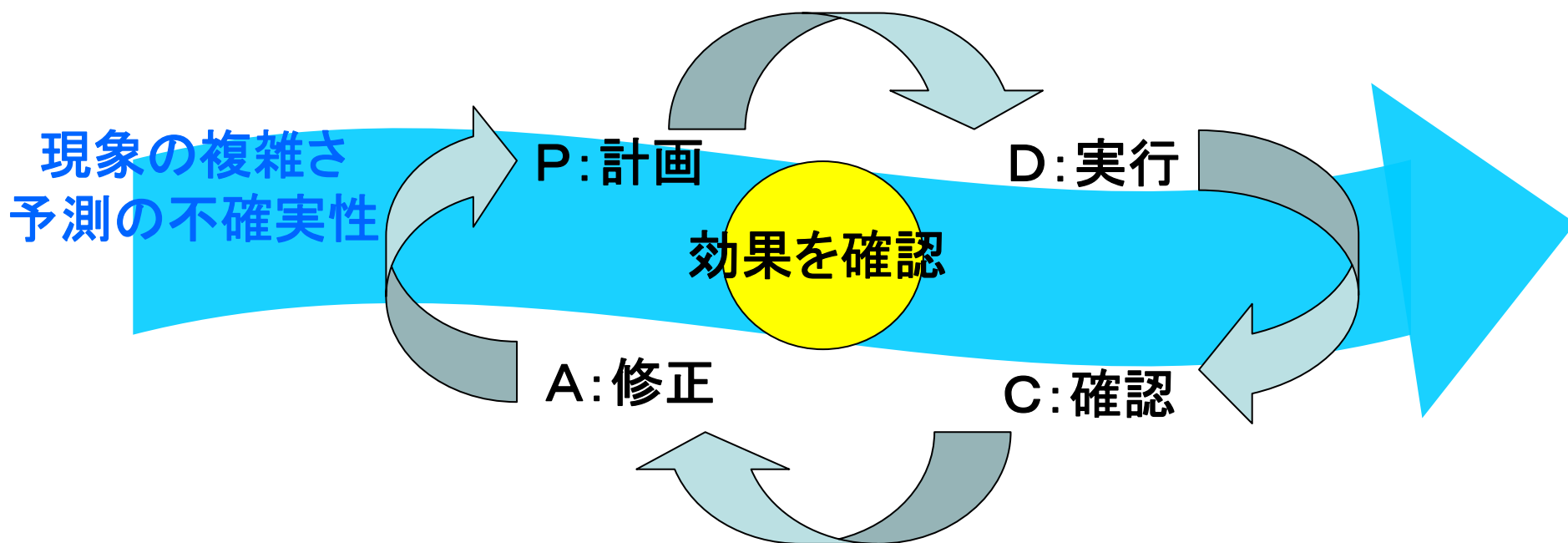
コーディネータ

市民からの多様な意見を取りまとめ、事業主体に伝える。また、事業主体が専門家に正確に伝えているか、専門家がきちんと検討しているか**中立・公正な立場**からチェックする。

(4) 宮崎海岸ステップアップサイクル

自然現象の複雑さと社会環境・自然環境の変化に対する未来予測の不確実性を踏まえ、

どのような方法をとればよいかを検討・実施し、その方法の効果を確認しながら、修正・改善を加えて、対策を着実に進めていきます。



「宮崎海岸市民談義所」の設置について

◇ 談義所は、勉強会と懇談会を統合して、
以下のような役割と機能を担います

- ① 多様な意見をお互いに認識し、知識・情報を共有する
- ② 市民と行政のコミュニケーションを充実する
- ③ 市民がお互いに納得できる、手段を含めた方向性を見いだす

◇ 頻度 : 月1回程度

宮崎海岸に関する委員会等

宮崎海岸侵食対策検討委員会 (5回開催)

委員長
東京大学 教授 佐藤慎司

宮崎海岸侵食対策検討委員会技術分科会 (2回開催)

分科会長
宮崎大学 准教授 村上啓介

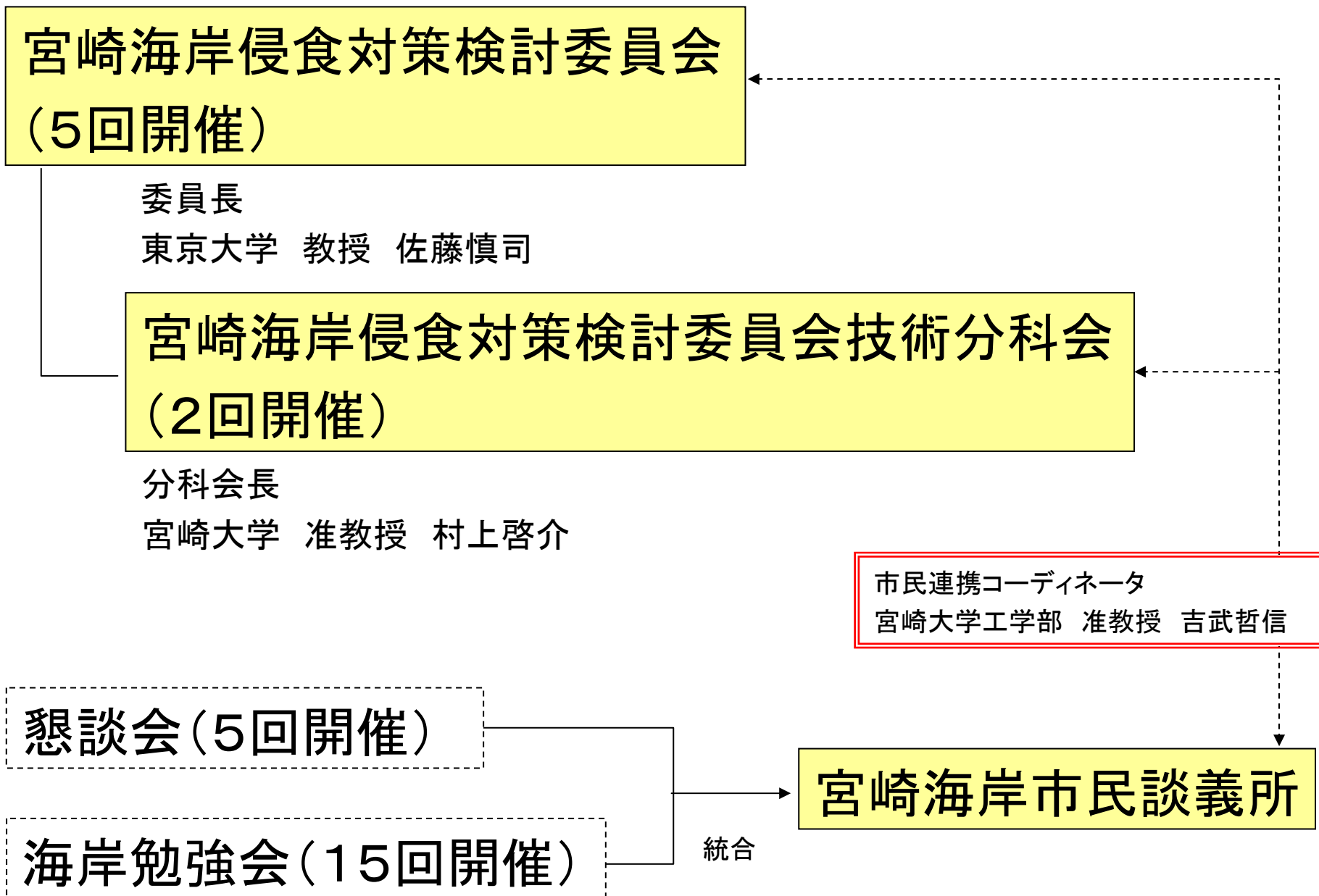
市民連携コーディネータ
宮崎大学工学部 准教授 吉武哲信

懇談会(5回開催)

海岸勉強会(15回開催)

統合

宮崎海岸市民談義所



3. 当面のスケジュール

当面のスケジュール(案)

4月

5月

6月

7月

8月以降

市民談義所

□第1回【4月末】

- ・これまでの意見の確認
(不足や内容の確認)
- ・談義所の進め方

□第2回【5月末】

- ・試験施工の方向性の提
案に向けた意見の調整

□第3回【7月初】

- ・試験施工の方向性の提
案に向けた意見の調整

□第4回【8月】

- ・未定

技術分科会

□第3回【6月末】

- ・地形変化モデルの提示
- ・地形変化モデルの妥当性の検証

□第4回【8月】

- ・地形変化モデル提示
- ・H21試験施工案の提示

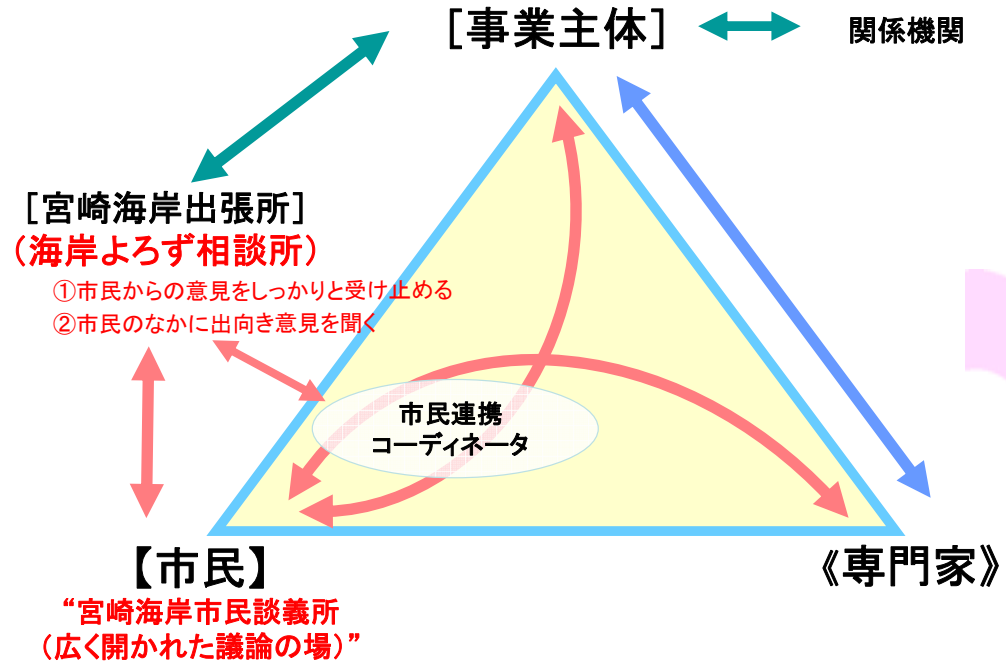
委員会

□第6回【9月】

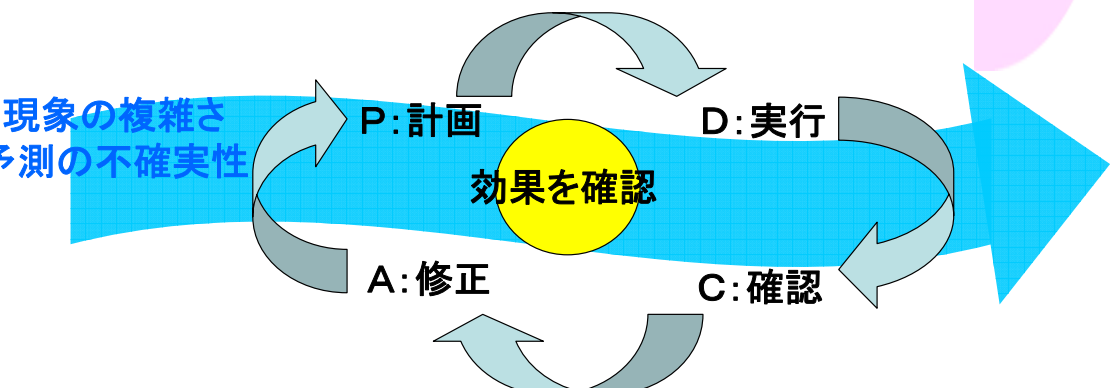
- ・H21試験施工案
の了承

宮崎海岸の未来をいっしょに考えましょう！

宮崎海岸トライアングル



宮崎海岸ステップアップサイクル



砂浜の保全を考
えることを通して、
様々な人々が参
加する場をつくり、
それを地域づくり
につなげる。